

職員採用試験



公務員試験対策が不要な新方式を導入

市は、より多くの受験者の中から熱意ある優秀な人材を採用するため、新たな試験方式を導入します。この新方式では教養試験を実施しないため、公務員試験対策が必要ありません。立川市や公務員の仕事に興味のある方、民間企業志望の方などに広くチャレンジしていただける試験方式です。

平成28年度採用試験

今年度を実施する職員採用試験(一般事務)では、従来方式と新方式から試験方法を選択して受験できます。従来方式と新方式では、1次試験の内容が異なります。募集職種や業務内容などは「広報たちかわ」5月10号でお知らせします。

●従来方式 1次試験で教養試験を実施

採用試験説明会

●新方式 1次試験で能力試験(公務員試験対策が不要な試験)を実施
なお、いずれの試験方式でも、1次試験で小論文、適性試験をあわせて実施します。

平成28年度に実施する採用試験の説明会を実施します。採用試験の内容、先輩職員によるパネルディスカッション、質疑応答などを予定しています。説明会は入退場・服装自由です。立川市や公務員の仕事に少しでも興味のある方はお気軽にご参加ください。直接会場へ。

時6月2日(木)午後1時〜3時
場たましんRISURUホール
大ホール定1000人(先着順)
問人事課人事係・内線2573

「立川市障害者差別解消の推進に関する職員対応要領」を策定しました

市は、4月1日に施行された「障害者差別解消法」を受けて、市職員が窓口等で障害がある方への適切な対応を行うため、「立川市障害者差別解消の推進に関する職員対応要領」を策定しました。

この要領では、不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供等について定めており、視覚障害をはじめとする10種類の障害について窓口対応などの具体例を示しています。この要領は、障害福祉課(市役所1階1番窓口)、市ホームページで閲覧できます。

市はこの要領にもとづいて、障害のある方への適切な対応に努めていきます。

問障害福祉課・内線1516Fax(529)8676eshou
gaifukushi@city.tachikawa.lg.jp

高齢者向け給付金申請書は届きましたか

平成27年度の臨時福祉給付金対象者で、昭和27年4月1日以前に生まれた方に高齢者向け給付金の申請書を送付しました。

●申請方法 ▼郵送必要書類を申請書に同封している緑色の返信用封筒(切手不要)で郵送してください▼窓口必要書類を市役所2階210会議室に持参してください。なお、出張窓口については、申請書に同封のお知らせをご覧ください。

●必要書類 ▼必要事項を書いた申請書▼本人確認書類(対象者全員分)のコピー▼受取口座の通帳またはキャッシュカードのコピー

●申請期間 4月25日(月)〜7月29日(金)
●給付額 対象者1人につき3万円(1回限り)
●給付時期 6月中旬以降

問立川市臨時福祉給付金コールセンター☎(595)6022

受験生チャレンジ支援貸付事業

立川市社会福祉協議会では、一定所得以下の世帯で家計の中心となる方に対し、中学3年生・高校3年生の学習塾などの受講料と高校・大学受験料の無利子貸付事業を行っています▼学習塾などの受講料上限20万円▼高校受験料上限2万7400円▼大学受験料上限8万円

問立川市社会福祉協議会☎(529)8300

職員等の内部通報制度 平成27年度の運用状況

市は、不正行為の未然防止と早期発見を図るとともに、市民の皆さんからの信託に応える市政を推進するため「内部通報制度」を設けています。

この制度により、市の事務事業に関して法令違反行為がある▼またはその恐れがある場合に、職員等は特定の窓口(法令監察員または法令遵守対応室)に通報することができ、通報者は不利益な扱いを受けないように保護されます。

平成27年度は、本制度を利用した内部通報は2件でした。
問法令遵守対応室(市総務課内)内線2593

公開する会議日程

いずれも直接会場へ(先着順)。

●多文化共生推進委員会 時4月28日(木)午後7時から場市役所209会議室定5人問協働推進課多文化共生係・内線2632

●教育委員会定例会 時5月11日(水)午後1時30分から5月26日(木)午後3時から場市役所101会議室定各20人問教育総務課庶務係・内線2465

●地域公共交通会議 時5月13日(金)午前10時から場市役所101会議室定10人問交通対策課交通企画係・内線2279

●生涯学習推進審議会 時5月18日(水)午後7時から場女性総合センター5階第1学習室定5人問生涯学習推進センター☎(527)5757

公共施設再編ワークショップ 公共施設の将来について みんなで考えました

市は少子高齢化・人口減少による社会状況の大きな変化の中、公共施設をどのように再編していくべきかを考えるワークショップを1月〜2月に市内5か所で開催しました。ワークショップでは、参加者の皆さんが考える将来の公共施設のイメージや、再編を実現するために気をつけることについて話し合いました。会場で行ったアンケートの一部を紹介します。

今後、ワークショップの意見等を参考に公共施設再編の計画策定に取り組んでいきます。なお、意見やアンケート結果等、くわしくは市ホームページをご覧ください。

問行政経営課・内線2702



アンケートの一部を紹介 (将来の公共施設のイメージについて)

地域の色々なイベントの中心になる施設が良い。

みんなが集う私の町の公共施設のイメージ。

「市民の声、市民の力を最大限活かした公共施設」をつくり上げていきたいです。

各地域で培われたコミュニティを大切に残しつつ、様々な人々が集まれる施設。

優先順位、判断基準を考慮に入れるべきなのでは。

コトとコトが弱いつながりを持つコミュニティ。

福祉施設や防災対策の空間を再編するイメージ。

多様化、少子化問題、魅力のあるまちづくり(市への流入)。

防災教育、防災拠点となる施設を増やしてほしい。

コミュニティをすることを大切に。学校に集約するしかなく、それ以外では中途半端になります。

稼働率と顧客満足度の高い施設のマネジメント。

文化の香りのする施設の実現を目指したいものです。